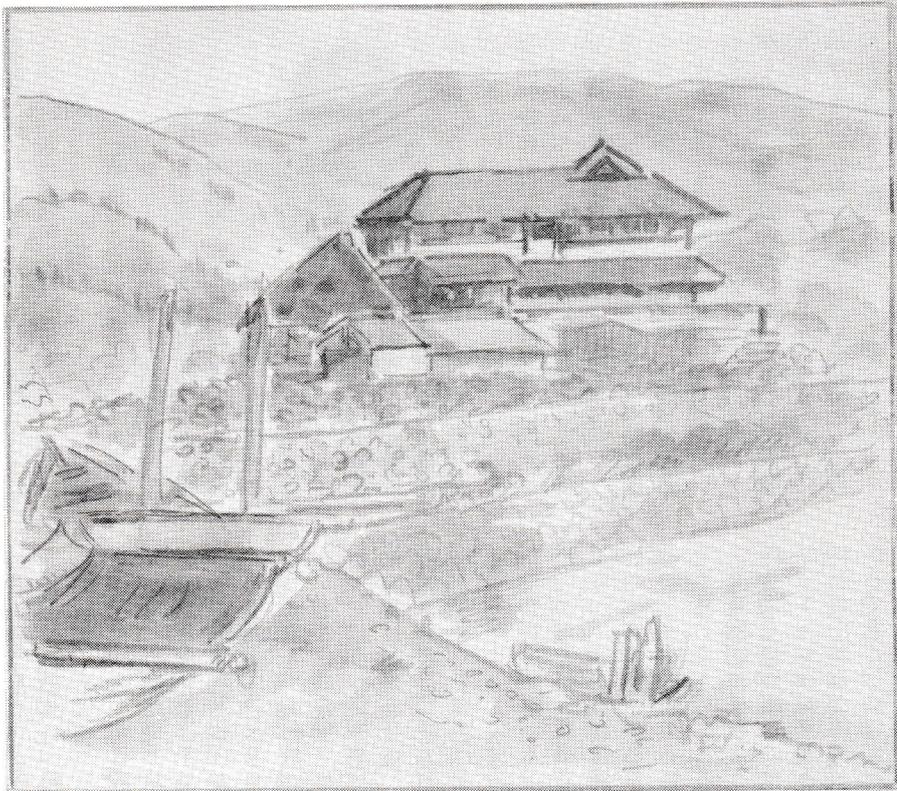


# 電友会四国連合会報

第 44 号

58. 10



## 目次

(随想) 緑と蛇.....	徳島電気通信部長.....	二
公社のうごき.....		二
電友会四国連合会総会.....		四
年金情報.....		五
共済会だより.....		六
余 米.....		七
随 筆.....		七
猪谷 嘉夫	秋山 利則	植田 艸園子
馬木 重美	梶原 照秀	小松 康秀
隅田 太郎	大手 待雄	
川 柳.....		二
福田秋風郎	合田 勇	
訃 報.....		二
表紙のことば.....		二
編集後記.....		二

(随想)

## 緑と蛇

徳島電気通信部長

波 頭 巖



での生活は何から何まで懐しく嬉しい。自分では忘れかけていた古い方言や風俗に接すると、何とはなしの温もりと安らぎを覚えるのは、四国生れ四国育ちのせいであろうか。そんな中で、これまで自分が抱いていた四国のイメージと大きくかけ離れ、少なからずがっかりしているのが、あの大規模な松の立枯れである。

枯れて黒ずみ、幹と太枝だけを残して山の尾根に立ち並び、その木立ちから山の向うの夕焼けが透けて見える光景は、殺風景で何となく無気味である。

こんな光景を眺めて、いつも想い出されるのは、その昔、新宿柏木のアパートに住んでいた頃のことである。

たまには自然に親しもうと、たしか高尾山だったと思うが、家族でハイキングに出掛け、小川に沿った小道を歩いているとき、突然一匹の蛇がハイカーの列を横切ろうとした。キ

ヤーという勘高い女性ハイカーの驚きの声と共に、付近の人は一勢に離散したもののだが、その瞬間、小学校三年と一年になる我が家の息子達は、人をかき分け、ラグビーのタックルよろしく蛇に飛びかかり、周囲のハイカーを唾然とさせてしまった。

緑と土が殆どない大都会のど真中に住んでいる子供達は、ベットといえばコンクリート・ジャングルでも何故か棲息している蟻とトカゲ、あるいは金魚屋から買ってくるイモリであって、これらをアパートのベランダで大事に飼育し友達と自慢し合っていた。蛇なんぞというものは、最上の宝物であったが、親の反対が多くて自由にならず、飼っている者はクラスメートの羨望の的だったようである。その宝物の蛇がいる、それ捕えろと兄弟で飛びついたという次第であった。

幸か不幸か蛇には逃げられて仕舞ったが、この出来事を目の当りに見て、緑と土のない都会で子供を育てる怖さというものを、しみじみ感じたものである。

今度四国に住むようになって、この蛇の事件をよく想い出すのは、私には都会のコンクリート・ジャングルと荒廃として赤茶けた松枯れの山並みとに何か相通じるものを感じるからである。

松枯れが情操教育と関係があると科学的に言えるかどうか知らないが、一日も早く松喰虫を退治して、子供の頃のように文字どおりの「緑の四国」であって欲しいと願うことしきりである。

公社のうごき

## 57年度 四国の決算のあらまし

— 収支率は前年と同率の一二一%、

赤字二七三億円 —

四国電気通信局では、このほど、昭和五七年度の四国における電信電話事業の決算をとりまとめた。

これによると、五七年度は電気通信サービスの一層の向上と、新規サービスの提供に努めるとともに、財務基盤の強化にも努力し、事業の円滑な遂行を図ることができた。

五七年度の決算の概要は次のとおりである。

## ■ 事業活動の概要

①加入電話については、三七、六〇〇加入を新規架設した。また、過去最高の移転工事約一二万九千件を実施した。

この結果、加入電話は一四二万八千加入となり、人口百人当たりの普及率は三三・七加入となった。

②公衆電話については、終日利用可能な街頭公衆電話を五〇〇個新設した。この結果公衆電話は三一、〇〇〇個となり、人口千人当たりの普及率は七・三個となった。

なお、一〇〇円硬貨が使用できるよう、二、二〇〇個の一〇円公衆電話を一〇〇円公衆電話に取替えた。

③電話をより便利に利用できるよう、プッシュホン三一、一〇〇加入、ホームテレホン二二、一〇〇個、親子電話二七、〇〇〇個、ビジネスホン二二、八〇〇個などを販

売した。  
 なお、プッシュホンについては、五十七年八月から値下げ等を行った結果、対前年度七四%の増となった。

④新しいサービスとして「ディスプレイホン」「プリンタホン」「シルバートホン(ふれあい)」「ホームテレホンD」「新形電話ファクス」「ビジネスホン50E」「メモリープッシュホン」などのサービスを開始した。

⑤INNS(高度情報通信システム)の基盤形成にむけて、松山と高松間に四国初の光ファイバーケーブルの敷設工事を開始した。

⑥基礎設備の拡充として、電子交換機の導入(徳島局など七局)、同軸ケーブル二区間(御荘と宿毛、宿毛と土佐中村)、マイクローエープ二区間(松山と高松、徳島と高知)の増設などを行った。

⑦非常災害時における電気通信サービスを確保するため、宇和島局に非常用電話局装置を配備した。また、宇和と野村、八幡浜と三崎の伝送路二ルート化に着手した。

⑧加入区域の拡大(五km↓七km)については、残っていた二か所を実施しすべてを完了した。  
 さらに、五七年度からの新たな施策として、半径七km円外の地域についてもおおむね一〇世帯以上の集落と離島振興法に指定されている離島を加入区域とすることとし、島しょ部三か所を含む二六か所を加入区域とした。  
 また、地域集団電話から一般加入電話への変更は、七か所(一、六〇〇加入)を完

了し、四国管内の地域集団電話は姿を消した。  
 ⑨広報・広聴活動の充実を図るため、五七年四月からオレンジラインがスタートし、又いつでも、だれでも気軽に声を寄せていただけるように各電話局に「オレンジカウンター」を設置、▽お客様の声を積極的に聴くために各地域に「お客様代表者会議」を設置、▽お客様から寄せられた意見を検討し、可能なものはただちにその実施を図る「オレンジ委員会」の設置、などの諸施策を通じ、開かれた電電公社を目指し社会との幅広いコミュニケーション活動を実施している。

■ 財務の状況

収支状況 収益の伸びと費用の伸びが均衡

収益は一、二九四億円で、前年度に比べ四七億円の増加となった。これは加入電話の伸び率(二・七%)の鈍化など厳しい状況にあったが、お客さまのご利用の増加に支えられつつ、各種商品の積極的販売、通話の利用促進など、各種の増収努力によって、対前年度増加率は三・八%となった。

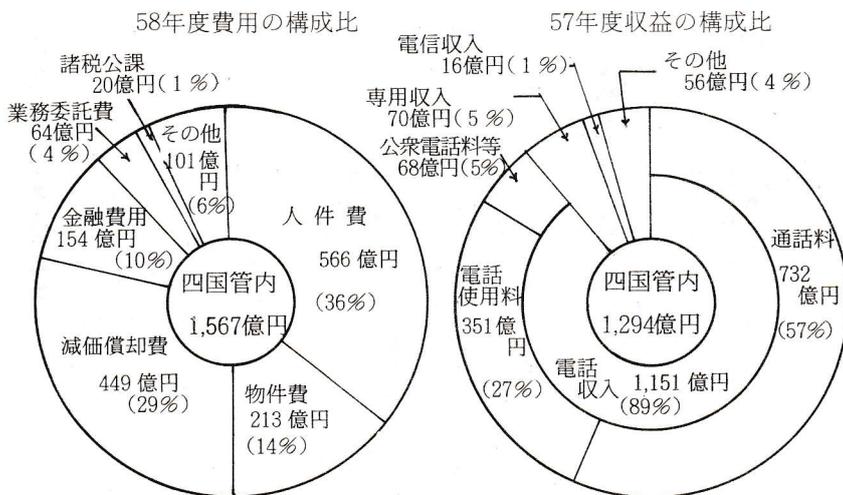
一方、費用は一、五六七億円で、前年度に比べ五八億円の増加となった。これは、月次決算を軸とした業務の見直しなど、経費の効率的な使用に努めたことから、対前年度の増加率は三・八%と前年度(五%)を大きく下回った。

この結果、収支差額はマイナス二七三億円となったものの、収益と費用の対前年度伸び率は均衡し、収支率(増減率)は一二一%で、前年度と同率で推移した。

収支状況の前年度比較

増減率(%)	増減額	五十六年度	五十七年度	区分
三・八	四七	一、二四七	一、二九四	収益
三・八	五八	一、五〇九	一、五六七	費用
	▲	▲	▲	収支差額
	一一	一一・二	一一・一	収支率(%)

(単位:億円)



電友会四国連合会総会

残暑と言うには余りにも厳しい暑さ続きの八月三十日、第十二回電友会四国連合会総会を松山市清水町四国電信電話会館において開催した。役員及び各県選出の代議員四十名が出席、小川四国電気通信局長、野本四国友愛会長が来賓としてご臨席せられ定刻十時三十分開会した。

物故会員に黙祷を捧げ、泉会長のあいさつがあり、続いて小川四国電気通信局長からご丁寧なお祝辞をいただいた。

ついで参議院議員長田裕二先生及び西村尚治先生からの祝電、岡野裕先生からのメッセージを披露し、議事を進めるため議長に愛媛県代議員篠浦達行氏を選び、次の議案を審議し原案どおり承認または決定した。

- 一、昭和五十七年度決算報告(別掲)
- 二、同 会計監査報告
- 三、昭和五十八年度事業計画(別掲)
- 四、同 収支予算(別掲)

続いて、米寿をむかえられた大洲市山口常次郎氏に記念品を贈呈することを披露、役員人事については全員が再任され、十二時五十分一旦休憩にはいり十二時三十分から懇親会にうつった。

棚橋副局長、小森秘書課長もご臨席くださって、通信局幹部と各県代議員とのなごやかで有効な交歓が行なわれ、約一時間の後閉会した。この総会にあたり、通信局幹部の方方には極めてお忙しい中を特に時間を割かれてご臨席いただき、出席代議員に深い感銘をお

あたえ下さったことは誠に有難いことであつた。

昭和五十八年度事業計画

電友会四国連合会は、各県の会相互の連携を密にし、会員の生活の安定、福祉の増進をはかり、あわせて電気通信事業に寄与せんとする会の目的達成のため、下記施策の推進をはかるものとする。

一、退職者の現況把握、その他公社の要請に対し、地域における公社の良き理解者として積極的に協力し、電気通信事業に寄与する。

二、恩給、共済年金については、経営形態の変革感いや制度の統合等により、年金受給者が不利にならないよう強力に関係方面に働きかけるとともに、改訂実施時期を四月一日とすること、また現職公務員の給与改定時期から一年遅れとなっている現状を改正するよう働きかける。

三、扶助料または遺族年金の算定基準額は、恩給・共済年金額の八〇％に改善するよう陳情を続ける。

四、恩給・共済年金受給者に対する老齢福祉年金の併給制限を撤廃するとともに、課税上の高齢者年金特別控除額をさらに引上げるよう陳情を続ける。

五、生存者叙勲の範囲拡大につき引続き電連を通じ郵政省へ積極的に要請する。

六、電気通信共済会が行う退職者を対象とする各種文化活動等に積極的に協力する。

七、連合会会報の一層の充実をはかる。

(58. 4. 1~59. 3. 31)

支出の部 (単位円)		収入の部 (単位円)	
項目	金額	項目	金額
分担金	60,000	繰越金	125,874
旅費・交通費	186,150	会費	375,000
会員バッジ買入金	57,000	会員バッジ販売金	91,200
会議費	39,000	雑収入	55,000
総会・理事会 編集委員会	3,000 36,000	合計	647,074
事務費	85,000		
通信費	43,000		
用品費	7,000		
印刷費	35,000		
雑費	70,000		
予備費	149,924		
合計	647,074		

昭和五十八年度収支予算

(57. 4. 1~58. 3. 31)

支出の部 (単位円)		収入の部 (単位円)	
項目	金額	項目	金額
分担金	60,000	繰越金	176,241
旅費・交通費	161,250	会費	338,400
会員バッジ買入金	114,000	会員バッジ販売金	17,670
会議費	1,090	雑収入	78,593
総会・理事会 編集委員会	1,090	合計	610,904
事務費	78,690		
通信費	42,690		
用品費	3,500		
印刷費	32,500		
雑費	70,000		
繰越金	125,874		
合計	610,904		

昭和五十七年度決算報告

## 年金情報

国鉄共済組合の財政対策として、国家公務員と公共企業体職員の間済組合制度の統合を行う議案が国会で審議されていますが、電退連では、今国会が召集されるのに先んじて、五八年八月関係のむきに対し次の陳情をおこないました。

## 日本電信電話公社共済組合にかかる

恩給・共済年金受給者の処遇等に  
関する陳情書

恩給・共済年金受給者の処遇改善等につきましては格別のご配慮にあずかり、私ども電電公社関係退職者はひとしくそのご厚志に感謝いたしております。

おかげをもちまして、逐年改善の実があがりつつありますことは、これひとえに関係各位のご尽力の賜物と厚くお礼申し上げます。

しかしながら、政府は第二次臨時行政調査会の基本答申及び共済年金制度基本問題研究会の意見に基づくとして、国家公務員共済組合審議会（会長 今井一男氏）及び社会保障制度審議会（会長 大河内一男氏）における審議経過、ならびにその結論に充分な配慮を加えることなく、また公的年金の統合、再編成についての具体的内容、それに至る経過措置等について何等法律に明示しないままに、一部共済年金財政救済のため、第九十八回通常国会に、国家公務員共済年金と、公共企業体職員共済年金とを統合する法案を提出され、目下衆議院において継続審議中であります。

私ども一身を電気通信事業の発展と、電電共済事業の伸展に捧げ、今や老後の生活のすべてを年金に託しております者達にとりましては、改正法案要綱中、特に「施行日前に給付事由が生じた公共企業体職員等共済組合法の規定による年金を受ける権利については、施行日の前日において消滅するものとし、当該年金を受ける権利を有していた者については、当該年金に相当する改正後の法の規定による年金を支給するものとする」とについては全く承服し得ないものであります。

つきましては、この際政府並びに関係の向におかれては、年金受給に関する既得権及び期待権の保障等に関し左記第一の諸点につき格別のご配慮を賜わるとともに、昭和五十九年度予算等の編成に当りましては年来陳情しております左記第二の諸事項につきまして改善措置が実現しますよう、会員一同の総意に基づき、お願い申し上げます。

## 記

第一、既得権の確保及び期待権の保障について

一、改正法案の審議及び成立に当たっては、次の措置をとっていただきたい。

- (一) 衆参両議院に年金問題を総合的に処理するための特別委員会を設置するよう考慮していただきたい。
- (二) 昭和七十年年度実施にかかわる公的年金制度の統合、再編成の手順、実施内容を改正法案中に明示していただきたい。

(三) 年金受給権は、既得権として憲法上保障された財産権でありますので、こ

れを消滅させないよう措置していただきたい。

四 各保険者の単独運営を公的年金統合時まで保証するとともに、財政調整の具体的方法は融資とし国の債務保証を付していただきたい。

(五) 公経済負担は、国の一般会計負担とするとともに、負担率は、私学・農林共済と同様の一八％としていただきたい。

(六) 電電共済年金については、税制適格の企業年金が設定できるよう措置していただきたい。

二、国家公務員等共済組合審議会等の委員に共済組合年金受給者団体の代表者を加えていただきたい。

第二、昭和五十九年度国家予算等の編成に関連してご配慮を賜りたいものについて一、年金額改定のスライド制を確保するとともに、自動的にスライドする方式等を確立していただきたい。

恩給・共済年金の改定時期は、すべて四月一日実施とし、また現職公務員の給与改定時期から一年遅れとなっているので、これを同時期にするよう逐次繰り上げていただきたい。

(昭和五十七年度における年金額の改定は、例年から一か月遅れの五月実施となり、また昭和五十八年度における年金額の改定は見送られるやに仄聞いたしておりますが、恩給・共済年金に生活を支えている者等については、その実質価値が定期に、かつ、自動的に

維持できるようスライド方式を確立し、受給者に対し生活上の安心感を与えていただくようお願いいたします。

二、恩給算定の基礎となる仮定俸給を総点検して格差を是正するほか、恩給と共済年金との格差及び退職年次による格差の是正を図っていただきたい。

(恩給算定の基礎となる仮定俸給の号俸間の格差は必ずしも等級数的開差でなく、極めてアンバランスとなっており、これを齊合するほか、恩給に通算方式を導入することにより恩給と共済年金との算定方式の相違による格差を是正し、及び同一または類似職位における退職年次による格差を一層是正するようお願いいたします。)

三、扶助料または遺族年金の算定基準額は、恩給・共済年金の八〇％に改善していただきたい。

(現在、五〇％ですが、夫婦の一方が死亡した場合、生活費が半減するとは考えられず、寡婦加算の増額がありましたが、なお積極的な配慮をしていただくようお願いいたします。)

四、恩給・共済年金の最低保障額を引上げていただきたい。

(逐年改善をみておりますが、引き続き引上げていただくようお願いいたします。)

五、恩給・共済年金は一般の所得と性質が異なっており、特に高年齢者については唯一の生活の糧でありますので、これに對しては非課税とするか、課税上の優遇措置を進めていただきたい。

なお、当面の措置として、現行の租税特別措置法による時限措置である老齢者の年金特別控除を恒久立法とし、昭和五十八年については七八万円を一〇〇万円以上としていただきたい。



共済会だより (三十四)

電気通信共済会四国支部 福祉相談所

共済会の社会福祉事業

はじめに

共済会は電電公社、全電通、共済会の退職者及びその家族等を対象として、広く社会福祉事業を行っておりますがその内容はつぎのようになっております。

一、生活援護事業

主として、退職者、遺家族の方々の、生活に関する各種の相談に応じ、経済的援護を行うために専門の相談役を配置しております。四国支部管内で五七年度の相談件数は、約四五〇件にもなっております。

二、育英事業

退職者、遺家族等の子供さんで、高校、大学等の修学に要する費用の援助(貸出し)を行っており、五七年度末で、延一〇三名の方々が利用しております。

三、退職者文化活動援助事業

退職者の文化的ニーズに應えるため五七年度中に

OB 大学教養科 松山、年間六回  
文化講演会 高松、徳島、高知市各一回

余技作品展 松山

等を行い、また各種サークル(一九団体)に對して、活動費用の一部を援助しております。

四、「ともがき」荘の運営

退職者の方々の交流、教養、娯楽の場として、松山市内に「ともがき」荘を運営しており、五七年度に四〇六一名の利用がありました。

五、医療共済事業

電電OBの方々の医療費の軽減をはかるために費用の半額を援別しております。利用者援助額とも減少しており、五七年度は利用者一四九四人(前年比三九%)、援助額二、四三七千円(同六四%)となっておりますが、この制度はいづれ廃止される見込であります。

六、その他

これらの事業のほかに、ねたきり老人がいる家庭の援護、退職者向けニュース「ともがき」の発行などを行い、また、社会福祉法人共済福祉会が、静岡県伊豆にリハビリテーションセンター及び、特別養護老人ホーム「伊豆白寿園」を運営しております。

おわりに

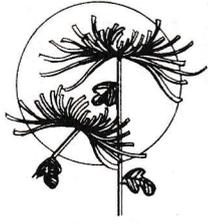
これらの事業を行うために要する費用は、すべて一般事業の収益金でまかなわしております。五七年度に全国でこれに要した直接の事業費は、約六〇〇〇万円にのぼっておりますが、これらの必要経費を生み出すために、本部、支部、営業所一体となって日夜努力をいたしております。

余 栄

ご逝去されました左記の方々に対し多年電気通信事業に貢献されましたご功績により叙位叙勲が行われました。

- 正七位勲八等瑞宝章(五六・八・四)
- 故 森 田 免 喜 殿(土佐)
- 勲七等瑞宝章(五六・九・三)
- 故 石 田 芳 二 殿(鴨島)
- 正七位勲五等瑞宝章(五六・二・一六)
- 故 西 本 勝 利 殿(松山)
- 從六位勲五等瑞宝章(五六・二・一七)
- 故 新 新 太郎 殿(高知)
- 正七位勲六等瑞宝章(五七・二・二二)
- 故 島 崎 友 文 殿(高知)
- 從六位勲五等瑞宝章(五七・二・二一)
- 故 吉 村 正 喜 殿(高知)
- 正七位勲七等瑞宝章(五七・二・二三)
- 故 高 橋 清 長 殿(大洲)
- 正七位勲五等瑞宝章(五七・三・二)
- 故 増 田 鉄 雄 殿(香川)
- 正五位 (五七・三・三)
- 故 内 田 龍 雄 殿(松山)
- 從五位勲五等瑞宝章(五七・三・二四)
- 故 岡 本 一 男 殿(鴨島)
- 從六位勲五等瑞宝章(五七・四・六)
- 故 田 中 義 隆 (松山)
- 勲八等瑞宝章(五七・四・一七)
- 故 廣 瀬 芳 太郎 殿 (高松)
- 從七位勲七等瑞宝章(五七・四・二三)
- 故 片 岡 明 殿(土佐中村)

- 正七位勲六等瑞宝章(五七・四・三〇)
- 故 大 熊 平 吉 殿(高松)
- 從六位勲五等瑞宝章(五七・五・一九)
- 故 大 平 一 夫 殿(高松)
- 從七位 木 杯 (五七・二・一)
- 故 瀬 山 次 平 殿(徳島)
- 正七位勲七等瑞宝章(五七・二・六)
- 故 庄 野 弘 殿(徳島)
- 正七位勲六等瑞宝章(五七・二・五)
- 故 吉 本 清 隆 殿(松山)
- 正七位勲六等瑞宝章(五七・二・六)
- 故 徳 久 要 殿(高知)
- 從七位勲六等瑞宝章(五七・二・七)
- 故 藤 原 繁 之 殿(高知)
- 正七位勲六等瑞宝章(五八・二・三)
- 故 廣 川 二 郎 殿(松山)
- 正七位勲八等瑞宝章(五八・二・一一)
- 故 片 岡 豊 殿(伊野)
- 正七位勲七等瑞宝章(五八・五・一七)
- 故 新 谷 順 一 殿(佐川)
- 從六位勲五等瑞宝章(五八・六・三)
- 故 花 山 茂 三 殿(松山)
- 從六位勲五等瑞宝章(五八・六・二〇)
- 故 土 方 義 夫 殿(高松)



随 筆

筆

(欧州記行) (四)

ベネチア



猪 谷 嘉 夫 (高松)

水の都ベネチアといえば幻想的なイメージをかきたてるようだが、今では凋落の街であり地盤沈下にあえぐ街である。ベネチアは百余の島からなり、同市の中心をなすベネチア島は最も大きい島が、現在では複雑な鉄道と幅広い道路が通る数軒に及ぶ堤防で本土と連なっている。中世紀には東地中海の貿易を一手に握り、各地に植民地をもつ強固な都市国家として繁栄していたが、巨船時代となるにつれ水深の浅いベネチアの港は衰微した。

ベネチア島を南北にS字状に大運河が貫流し、中小運河が網の目に連なる。道路は狭く蛇行し、運河上をアーチ型や平面の橋が無数にあり、従って電車やバスは勿論タクシーもない。大運河を定期的にフェリーが通い、モーターボートがタクシーをつとめ、名物のゴンドラは観光専門である。

古くから開け裕福だったためか、市内には宮殿が非常に多く、寺院や教会も多い。最も古くて大きいのがサン・マルコ寺院。浅緑色の五つのドームと十数個の尖塔が林の如く並び、内部には世界的な名画が沢山飾られている。寺院前のサン・マルコ広場を囲んでアーケードの商店街がある。広場から寺院の内部

まで、地盤沈下で満潮時には湧水する。我々も見物を終えたときは仮設の棧橋を通る有様。この寺院の隣がドウカレ宮殿、運河を挟んで石牢に通ずる屋根のある橋が、有名な溜め息の橋で、囚人が一度渡れば再び娑婆に戻れなく、溜め息をつぐからとの由。ゴンドラにも乗ったが街裏の薄汚ない所を通り、余り感動も起きない。ゴンドラは月夜に棹さして行くシルエットを眺めるのが情緒的である。

### 電友会の発足について

秋 山 利 則 (丸亀)

本年一月、丸亀局に在職していた退職者の集いの会が発足しました。

香川電友会も約四百名にもなると、総会に出席しても、玉藻公園内の広い紫雲閣の大広間が満席し、少し席を離れると会話も交わし難く、またお互いの出欠の有無さへわかりにくくなってきたので、せめて同じ局の釜の飯を食った者で、気楽に語り合いたいとの声がおこり発足したものです。

発会は市内の結婚式場魚亀をかり、約五十名が参集し、楽しく語らいながら、会の規約等をきめました。

一、会の名称は電友会とする。  
二、会員は丸亀局に在職していた退職者とする。但し丸亀局エリヤ外の居住者は本人よりの申出による。

三、会は原則として毎年一月と七月に開催する。  
四、会費は無料とし、開催の都度必要額だけを徴収する。

五、会には役員をおかない。但し有志の方を人数に制限なく世話人に依頼する。

という簡単な五項目です。

電友会という名称は丸亀の亀でもあり、亀は万年の長寿に皆があやかるようにとの願いであり、そして童話の亀のように、あわてずさわがず、然も留まることなく、元気にマイペースで暮す日々でありますようにとの会員の希求がこめられたものです。

第二回目は七月二十五日に、盆の里帰りにちなんで昔の職場へ里帰りをし、丸亀局の会議室で開催しました。例年になく異常な暑気の中にも拘らず、第一回を上回る人数となり会議室が狭隘の状態でした。

丸亀局の大変なご協力をいただき、公社のINSをVTRで見せてもらい、また機械室や洞道等の施設見学をしましたが、かつて在職当時との変革に皆目を見はりました。局内巡回は数年ぶりのものが多く、中には十数年ぶりという方もいて旧懐談ではずみましました。

第二回目には丸亀局エリヤ外からも数名が参加されましたが、エリヤ外からの参加も大いに歓迎しています。共に語ろうという有志の方は、何時でもご連絡ください。以後は会開催の都度ご案内をさしあげることになっております。

### Mさん、お元気ですか

植 田 艸園子 (高松)

〈区切なき老いの七曜夏に入る〉という句があります。今年の夏、五月のはじめから私も俳句をはじめました。あなたは一昨年からは俳句をおやりとか、すこし遅れて同じ道を歩こうとしております。

もっとも昭和三十年頃、数年間の俳句入門

時代がありますので、今回は、俳句第二次入門ともいええます。しかし今度は途中でやめなくて着実に続けていくつもりです。

四月から市立図書館ではじめた「古文書の解読講座」と俳句が、目下の生きがいといった有様です。

俳句は地域の俳句会に参加して、毎月二回の句会で精進しています。この会はほとんど女性で、地区の集会所が会場です。

俳誌は、見本誌数誌を取り寄せ検討しましたが、結局会の連中と同じ「田鶴」と鷹羽狩行の「狩」に落ち着きました。

そこで、五月からのつたない句をいくつかお目にかけます。思いきり打ちのめす底のご意見お聞かせ頂ければ幸甚です。

古文書に倦み呆けたり新茶汲む  
野をこめて葉焼くけむり五月盡  
みほとけは青面金剛花茨

腰痛の眠れぬまゝに青葉木兎  
ときならず着く父の日の贈物  
小判草種を無心の便り来し

鞠解かれ七夕けまりはじまりぬ  
七夕の鞠の水干ひるがへる  
祭舟舫いて獅子を舞はせをり

一湾の潮に映して揚花火  
文字摺の群生知らせ来る電話  
爽やかに親子五人の僧唱和

秋灯や襖の朱房はなやげり  
峽人の通ふ吊橋鱗雲  
山寺に無人の店や茄子胡瓜

法師蟬ほどよく据はる陶床几  
ほんとうにまじい句ばかりお見せして申し訳ありません。それでも、ひたすら寫生に徹

して、自然と人生を見つめていきたい気持は  
いっぱいあります。ご示教を仰ぎます。また、機  
会がありましたらあなたの句を拝見させて頂  
きたく存じます。

今年の夏は格別で、秋立って一か月とい  
うのにもまだ猛暑、ご自愛ご健吟をお祈りします。

### ふるさと探訪

馬 木 重 美(松山)

寝起きの悪い私が暗いうちに目が覚めた。  
即刻窓のカーテンを開けた。すぐ前に市庁  
舎が見え、その玄関にある大きなデジタル時  
計が四時過ぎを示している。徐々に明るくな  
るにつれ前方に中央庁(もと総督府)、三角  
山、北漢山、左手に仁王山と徳寿宮が見えて  
きていくら見つめてもあきることのない思い  
出深い風景である。

ここは市庁前(もと府庁)のプラザホテル  
ソウル市の中心である。朝食もそこに夢  
にまで見た南大門通り、忠武路、明洞等なつ  
かしい町を見物して通った。市内は人と車で  
いっぱい。人口八七〇万と知ってはいたがな  
るほどといった感じ。十年前とくらべて高層  
ビルが増えた以外さほど変わったとは思わな  
い。南山から眺める漢江南岸、清凉里方面の  
郊外のマンションの林立には驚いた。

車で西水庫対岸に行ってみた。ここに巨大  
なオリンピック会場が建造されていて外見上  
は出来上っているかに見受けられる。帰途南  
大門市場を歩いたが、戦時中よく朝鮮餅を買  
ったなつかしいところである。

翌朝七時にホテルを出てすぐ下の地下鉄駅  
で「ソウルステーション」行きの切符を求め

改札口でホームの案内図を見ていると、中年  
の方が指さして教えてくれた。

ソウル駅前に立つと、なんとも言えぬさわ  
やかさがある。涼しさがある。「ソウルに來  
た。ここがソウルだ。」との実感が湧いた。か  
つてはこの駅から、北京行き、新京行き、壯  
丹江行きの長大急行が発車していった頃の事  
を思い出す。

買物のお目当新世界デパートにはいる。こ  
こは戦前の三越で、昔の面影をそのまま残し、  
中央の階段は当時の大理石のまま、思わず  
手を触れてみる。

次の日、早朝から国際郵便局へ出向いた。  
玄関にはいると後から追いかけてきた高校  
生らしい女の子がカメラのカバーを差し出し  
た。私が落として気付かなかったものである。  
つい日本語で「有難う」と言ってしまう韓国  
語で言えばよかったと反省する。窓口で切手  
を求めポストの前に立つと「航空便でしたら  
こちらです。」と七十才位の方が声を掛けられ、  
「どちらから来られましたか」「中曽根総理  
の日本での評判はどうですか」等と問いかけ  
る。「日本では一部の人に少し評判が悪いよ  
うです」と答えると「それは田中さんとの関  
係ですか」と聞く。「軍備に少し力を入れる  
からかと……」「それは日本のために良いこ  
とです。ソ連がおりますからね」と。まだま  
だ話したい様子が見えたが私には予定があり  
挨拶して別れた。中曽根総理は韓国で評判が  
いいそう、それは東南アジア訪問に先がけ  
訪韓し、挨拶も韓国語で行なったと言う。だ  
がそれにもまして、総理は我が国と韓国の不  
幸な歴史を率直にあやまったからだと思

う。この日は終日車で走った。巨大なオリ  
ンピック会場の建造物、冠岳山周辺の政府を中  
心とした林立するビルの官庁街等、この国の  
意気込みみたいなものを強く感じた。

中央庁通りに秀吉軍を打破った李舜臣將軍  
の巨大な像が、はるか東方をみつめて立って  
いる。近くにもとの京城日報社、府民館、府  
庁等がある。約半年間勤務した国際電気通信  
KK京城支社ビルの前も歩いた。

あわただしいうちに予定の四日が過ぎた。

今回は家内も同行し、韓国の実態を見せる  
良い機会にめぐまれたことは幸であった。

ホテルに別れを告げ、友人からキムチを贈  
られ、車で麻浦から六車線の国道を金浦空港  
へ走り、夕刻六時五〇分、機上の人となり一  
路帰国の途についた。

### 年賀状廃止

梶 浦 照 彦(徳島)

退職以来、喪中による年賀欠札の葉書が、  
ここ毎年二、三人続いて、年賀状を出す数  
がだんだん減ってきた。

年賀欠札の便りを受けることに、いろいろ  
の思いが去来し時には夢にまで見るこ  
とがある。

ポロポロ歯が抜けてゆく思いがして、悔み  
きれない寂しさに落ちこむ。

喪中の方に年賀状を差し上げて非礼にな  
つてはと、別のノートに年別に整理をして  
いるが、ふと、今年から年賀状をやめようと思  
った。

先輩の前方や、心こもった賀状をいた  
だいてくれる人と思うとなかなか決心はつきにくい

ことではあるが。

賀状による年末年始の郵便ラッシュで普通郵便の遅れが出たり、当局では臨時のアルバイトを雇って、さばくのに大童の状態を繰りかえしているが、その緩和の一助にも足りないではあるうが。

年賀葉書と市内通話料の比較は妙な対比であるが、電話で賀詞を述べることにすれば、負担も軽くいくらか公社増収にも協力できるものと信じる。

電友会会報の紙上をかりて、勝手ながら年賀状廃止のご了解をいただきたいと思えます。

### 山へ登るの記

小 松 康 秀（高知）

そろそろ定年退職の時期が近づいた昭和五十四年のはじめごろであった。何かひとつ全力投球のできる趣味をもちたい、それを老後の生きがいにしようと考えていたところ、高知新聞の伝言板欄で、「山と野原の会」が定期的に山登りを行なっているという記事が目にとまった。尋ねてみると仲々理想的なものであり、早速入会させてもらった。

初登山はその年の二月十八日、祖谷の国見山であった。初心者には若干きつい山であったが、山頂付近のみごとな樹氷や、雪を頂く土阿県境の山々が一望され実にキレイであった。これが病みつきとなり、完全に山のとりこになってしまった。以来今日までの登山回数には百五十回位になった。このなかには、富士山や南アルプスなどの本格的な山も含まれている。

「何故山に登るのか。山がそこにあるから

だ」とは、イギリスのヒラリー卿の有名な言葉である。この奥義がわかるような気がしだしたのも、山男の仲間入りができた証拠だと、自画自賛しているところである。

正直言って、息も絶えだえに艱難辛苦して険しい山に登るとき、何を好きこのんでこんな難儀をしなければならぬのかと、思い込むことも再三であった。けれど、山頂を極めたときの征服感、そしてそれからくる無性の喜びと爽快さは、凡そ筆舌につくせないものがある。

また、健康にもすこぶるよろしい。一時は体重七〇キロもあったが、今では六一キロに減量となり、体調は言うことなし、よく吞んでいた胃腸薬やドリンク剤ともかなり以前からオサラバしている。

ちなみに、この会の会員数二五一名。六十代、七十代の人たちも結構いる。政治臭が全くなく、市民の誰もが自由に参加のできるスマートさがこの会の良いところ。会費も年一六〇〇円で傷害保険にも加入している。年四回発行の会報に周知される毎週の山行き計画を見て、自分の好きな山へ行けばよいのである。リーダーがちゃんと連れて行ってくれるシステムである。

ともあれ、山行きの日曜日が待ちどおしい日々の私である。

### この頃思いついた

隅 田 太 郎（高知）

電友会の皆様お元気ですか、私も昨年の三月、四十余年の公社生活を終り皆様方の仲間

入りをさせていただきました、よろしく。

在職中は困難な事に出会ったりすると、出勤の足どりは重く、早く定年にならないかな、と何度か思ったことでしたが、さあ退職してみると何とも張り合いのない毎日でした。しかしポケットベルへ第二の就職をお世話していただき、やっと息をついでいるところです。

この頃、新聞、テレビは連日大韓航空機の墜落事件のニュースが報道されています。本当にソビエトという国はいやらしい、恐しい国で腹立たしいことです。

しかし、そのロシア人と言っても私達日本人と何も変わった人間ではないはずですが、一握りの政治家によって、自由と民主主義が奪われて、何も知らされないソビエト国民もかわいそうなものです。

その点、日本は本当に幸せなことだと思おうと同時に、私達は自由と平和を守り続ける努力をしていかなければならないと思います。

それにしても中曽根君の不沈空母、四海峡封鎖とはチット気にかかる言葉です。

変って、我家では、猫の額ほどの菜園で趣味の野菜作りを始め、無農薬野菜に挑戦をしています。これもこれも虫にやられて朝夕虫退治に悪戦苦斗の連続です。

日曜日には市に出かけ、庭木や野菜の苗を物色するのですが、市には虫に喰われていない立派な野菜が割安く売られておいて、苗代も取れない我家の収穫に私は、この労力はどうなるんや、とぼやきたくなるが、まあまあこれで楽しみと健康を買っているようなものよ、と自からを慰めている今日この頃です。

独 言

大 手 待 雄 (松山)

K君、僕の独言を聞いてくれ。

あんなに気さくでお元気であった奥さんが、難病だと診断せられ、奥さんに内諸でこのことをお医者さんから知らされた君は、気持の整理ができないまま入院をさし、付きっきりで枕元を離れない君を奥さんが不審がり、どうして、どうしてなの、と何回も聞かれたというに。そして一ヶ月。奥さんは元気になることを最後まで信じながら、君の手の届かない所へ行ってしまう。

K君、君の気持を思うと僕は顔を合わすことさえ辛くて、独言を言っは、君が一日も早く悲しみから立ち上ることができるよう祈っているんだよ。

君はいつか、こんなことを言ったね。「家内は朗らか者で、何一つ良くしてやれないのに、一言も不服らしいことを言ったこともなく、贅沢は知らないと言った風で、なり振り構わず盡くしてくれるいい奴ですよ。子供も手が離れたし、これからあれに僕がお返しする番なんだ。」と。

その奥さんが時期を待たずに逝ってしまった。僕は君も奥さんも哀れでならないんだ。君等のような本当に良い夫婦は、お互いをいたわりながら、静かに年をとって行って、理想の老夫婦になっていくものと信じていたのに。

お宅を最初にたずねた時、笑顔の美しい奥さんが迎えて下さって、君より一ヶ月遅れて結婚した家内を妹のように親切にしていたことが、家内には余程嬉しかったらしく、それからは君もご承知の通り本当の姉妹

のようにしてたのに、僕の転勤で遠く離れてしまい、あれから何十年、手紙や電話で変らぬご親切をかけて下さったあの優しい奥さんが、どうしてこんなひどい病気にとりつかれたのだらう。当然元気になって前のように君のお世話ができるものと、思っておいでになっただらうに。家内は「あんなやさしい朗らかでいい人が」と言っは涙ぐむ。

K君、早く元気をとり戻してくれ。

それが亡き奥さんへの最大の供養だと思っ



福 田 秋風郎 (松山)

趣味楽し祝辞へ一句用意する

古傷に触れる書棚に戦記もの

三人目の親をテレビに伸び盛り

合 田 勇 (松山)

明日孫が来るそわそわと夜を更かし

寝そびれた夜の枕を持て余し

訃 報

次の方が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

氏 名	死亡月日	行年	所 属
伊藤 末弘殿	58・8・20	七九	高知
松下 稠殿	58・8・21	五八	鳴門
柳瀬 市郎殿	58・8・21	六九	佐川
早川 信雄殿	58・8・26	五七	高知
宮崎 政一殿	58・9・7	七八	松山

表紙のことば

莊野 丹秀 (内海)

瀬戸の小島に一泊スケッチに行く。旅館の裏に廻ってみると、まだ懐かしい昔のままの漁村風景が残っていた。遠く過ぎ去ったよき時代を想い出す。

投 稿 規 定

一 会員消息 四〇〇字以内

二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内

三 随筆、随想 六〇〇字以内

原稿締切 一月一〇日

原稿の取扱いについてはお任せねがいます。

編 集 後 記

▽酷暑が続いた夏も法師蟬の鳴音とともに遠のき、稲田にはもう稲穂が垂れて、祭囃子の稽古をする子供の姿がテレビで見受けられるようになりました。時の移り変わりには待ったなしです。年金の改善には待ったがっかり、良いニュースが聞かれませんが、新年度予算について前掲の通り陳情しましたが、良い結果を期待してやみません。(渡部)

電友会四国連合会報

昭和五八年一〇月一日発行

編集発行 電友会四国連合会事務局

松山市一番町四丁目(二十七九〇)

四国電気通信局内

電話(〇八九九)三六一二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社

# がんばります、災害時の電話。

電電公社は、災害時における通話確保こそ最大の使命と考えています。

台風や集中豪雨、地震などの災害に備えて、電電公社は次の対策をとっています。

- 通信設備については、災害に備え耐震、耐火、耐水化を推進しています。また、通話が途絶しないよう重要な区間を中心に2重、3重のルートを設定して万一に備えています。
- また、市外回線が切断されるなどで、通話が途絶し市町村が孤立することがあります。この場合には、役場等の避難場所に無線の電話機を用意し、緊急通話を確保しています。
- 万一、電話局などの通信設備が災害を受けた場合でも、移動式の電話局を用意するなど早期に通話が復旧できるよう万全を期しています。

- 災害時は、青・黄・緑色の公衆電話は重要通話と同様、優先して接続することとしています。

かけたい時に手が届く

## ホームテレホンD



商店や部屋数の多い住宅に適した電話です。電話を使いたいお部屋に1台ずつ置いておけば、どの部屋からもかけたり受けたりできます。また、インターホンとしても利用できますので、部屋どうしのお話や、玄関でのお客さまもドアホンを通して対応できます。他の人に聞かれたくない時は、スイッチ1つで切替えOK。さらに、スピーカによる一斉呼び出しや、受話器をとらずにダイヤルできる機能などもそなえています。

もっとわかりあえる、明日へ



電電公社